



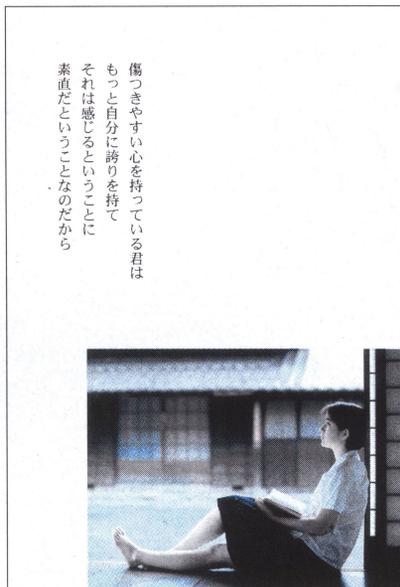
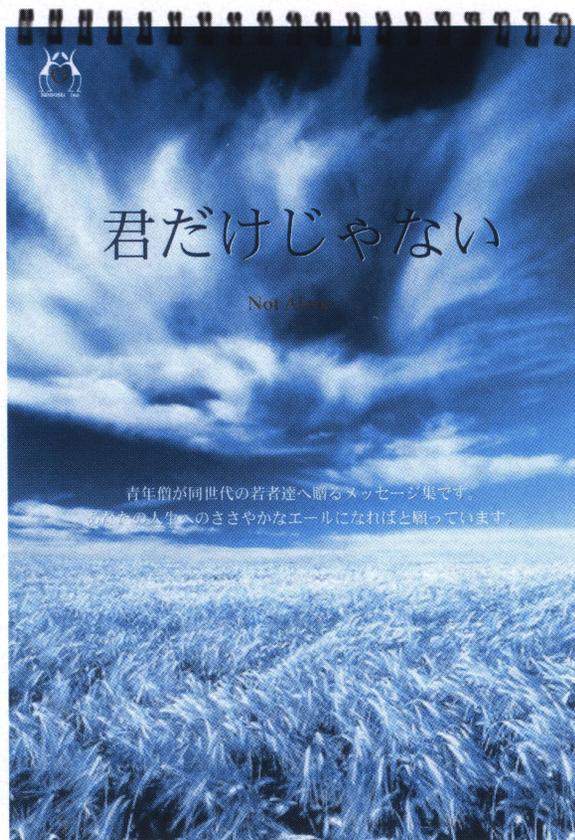
そうせい

117 | 全国曹洞宗青年会
2002.5



青少年教化用壁掛け伝道句集「君だけじゃない」実費頒布のご案内

昨年より全曹青の青少年教化研究委員会では、現代の青少年が実際に興味を持ち使用できる教化用教材として壁掛け伝道句集の製作に取り組んでまいりました。現代の青少年の目線に立ち、「共感できる想いを解りやすい言葉で」を目標に委員会を重ね、この度完成いたしました。お盆やお彼岸のお返しなどにご使用いただければと思っております。



コート紙B5版 13枚つづり
4色カラー ツインリング使用

1. 単価1部200円（税込み）にて実費頒布。（送料込）
2. 購入枚数
50部単位で何部でも結構です。
3. 注文方法
下記の注文書に必要事項をご記入の上、このページをコピーして、郵送またはFAXにて申し込んで下さい。
4. 申し込み締切り
平成14年6月15日までといたします。
ただし初回印刷を3万部限定とさせていただきますので増刷分につきましては発送が下記期間より遅れることがあります。
発送は5月20日より7月10日の期間に申し込み順にて発送いたします。
5. 代金支払い方法
製品に同梱されている振込用紙にて、到着後14日以内にお振込下さい。
6. 申し込み先
〒960-8204 福島県福島市岡部字大蔵52-3 伊藤写真事務所 FAX 024-531-3287 ☎024-531-3284
7. 問い合わせ先
委員長：阿部 光裕（あべこうゆう）☎090-8424-4232/委員：大室 俊英（おおむろしゅんえい）☎090-8920-1125

布教教材「壁掛け伝道句集～君だけじゃない～」注文書

購入枚数	部（50部単位でお願いいたします）		
御住所	〒 -		
寺籍番号	番	ご寺院名	
ご氏名		電話番号	() -

そう

02.MAY

せい

S O S E I

W H A T ' S N E W

表紙が語る



古人はこの我々の頭上に「天—sky—」と名付けた。
 我々の足の下を「地—earth—」と名付け、その時世界が二つに分かれた。
 以来我々はあらゆるものに名を付け、意識は天をも支配しようとしている。
 頭上には目に見えぬ人工衛星がいくつとなく飛び交っているという。
 名付ける前の「無」にはもう戻ることはできないし、その必要もないのかもしれぬ。しかし、忘却された「無」は静かにそこにある。
 古人はこんな晴天を「碧虚」とも名付け「空」とも名付けている。

撮影/小原 幸子



4 SVAとの対話

平成14年1月9日にSVA本部においてSVA会長・松永然道師、同専務理事・三部義道師、同会事務局のみな様と、全曹青・池上幸秀会長、同ボランティア研究委員会・奥野昭典委員長による会談が行われました。その様子をご紹介します。

C O N T E N T S

8	特集関連記事 SVAアフガン報告	
9	お寺散策 青竜山茂林寺	
10	環境問題のスピリチュアルな視座④	正木 高志
12	ディスカバーヒューマンライツ③	見野 彰信
14	現代と宗教 —仏教経済学って、何?—	武井 昭
16	SOSEI インターナショナル②	藤田 一照
18	インターネットの世界をのぞいてみよう! その19	
19	パソコン格闘記	
20	全曹青情報局	
24	そうせいINFORMATION	
25	エコクッキング	小池 澄子
26	賛助会員御芳名	
27	そうせいサロン	
27	遠山無限	池上 幸秀
28	青年会モザイク	



左から、全曹青ボランティア研究委員会・奥野昭典委員長、全曹青・池上幸秀会長、SVA会長・松永然道師、SVA専務理事・三部義道師

SVAとの対話

本誌116号でご報告いたしましたが、全曹青では去る1月、社団法人シャンティ国際ボランティア会(SVA)にアフガニスタン難民緊急支援のお役に立てていただくために、寄付をさせていただきました。その折りSVA会長・松永然道師、同専務理事・三部義道師、同会事務局のみな様と、全曹青・池上幸秀会長、同ボランティア研究委員会・奥野昭典委員長が会談をさせていただきました。

アフガニスタン支援の現状を中心に、SVAの活動、さらには全曹青がどのようなかたちで関わっていくことができるのか、示唆に富むお話をうかがいました。その要旨を報告します。

(文中・敬称略)

「憎しみは慈愛によってのみ滅す」を 基本理念に活動を展開

池上 米国同時多発テロ事件に続く報復攻撃では、多数のアフガニスタンの方々が犠牲となっています。全曹青としては被災者の方々に対して少しでもお役に立てたらと考え、今回、寄付をさせていただきましたが、今後どのような支援ができるのか、そうしたことも含め、アフガニスタンへの支援についておうかがいしたいと思います。

三部 では、会長が参ります前に現状について簡単にお話しいたします。SVAでは「憎しみは憎しみによって滅することはない、憎しみは慈愛によってのみ滅す」という考えのもとに活動を続けてまいりました。同時多発テロ事件以後、武力によらない平和への解決を進めるよう望んでまいりましたが、残念ながらアメリカおよびその他の国による報復攻撃が開始されました。これは大きな問題であろうと考えております。

SVAでは、アフガニスタンへの支援と同時に米国のテロ被災者に対しても、米国のAFSCという伝統のあるNGOを通じて支援を行っております。AFSCはクエーカー教系ですが、募金者の9割は非クエーカー教徒です。同時多発テロ事件では全米で献血活動を行う一方、罪のないアラブやイスラム系への誹謗を許さないという立場をとっています。

SVAとしては今回の支援にあたって「非暴力」の立場を鮮明にして活動していくことが大切だと思っています。

対談風景



と考えると、米国のAFSCという伝統のあるNGOを通じて支援



食料配布と子どもたちのケアで 未来につながる実質的な支援を

— SVAは、これまでタイ、ラオス、カンボジアなどで活動され、アフガニスタンははじめてですね。

事務局 アフガニスタンは23年間にわたり内線が続き、さらにここ3年は干ばつにより国土が荒廃しています。これまででは日本のNGOでは「ペシャワールの会」と「燈台」の2つくらいしかアフガニスタンでの実績がありません。今回は「燈台」のご協力で現地のNGOのネジャットセンターを紹介していただき、まずスタッフ2名が現地を調査しました。その結果、アフガニスタン国内避難民への食糧配布と、パキスタン国内の難民キャンプでの子どもたちへの支援、という2つの柱を立てて支援活動を行うこととしました。

まず食糧配布ですが、これは世界食糧計画(WFP)の調査でもっとも食糧事情が悪い地域の一つとされているシャルシャイ地区で試験配布をしました。食糧は略奪されずに確実に被災者の方に届くことが大切で、これは国連やNGOでもなかなか難しい。そこで、ネジャットセンターに依頼し、アフガニスタンで伝統的に機能している同地

区の族長のみなさんに話し合いをしてもらい、小麦粉と食用油を配りました。小麦粉はナンというパンのような食品を作る材料に使ってもらおうというわけです。

過去の内戦やアメリカの攻撃などによって、両親や家族をなくしたり、路頭に迷う子どもたちが増え続けています。戦争被害によるトラウマで苦しんだり、物乞いや売春を強要されるケースもあり、多くの子どもたちがダメージを受けています。こうした子どもたちをパキスタン国内の難民キャンプで緊急的に保護し、栄養補給、カウンセリング、さらに初等教育、職業訓練などをしようというのが、子どもたちへの

他者への理解を深め おおらかな気持ちで全体を見渡す

池上 全曹青として、ほかにできることはないでしょうか。

三部 現地は治安の問題もあり、また特殊な社会ですから、実際問題としてなかなかむずかしいですが、たとえばモニタリングとして現地視察を行うようなことがあれば、それに参加してい

の支援の骨子です。

奥野 今後の計画はいかがですか。

三部 お蔭様で全国のみな様からの募金が予想以上に集まっていますので、かなりいろいろなことができそうです。

事務局 食糧などは今後、アフガニスタン内での現地調達も考えています。これはコストが安くてすむほか、代金を現地に落とせる、雇用も作りだせる、といったメリットがあります。そうやって現地の人々の生活を再建できると、難民にならずに国内にとどまることが可能になり、その地域でやっていると希望にもつながる、これはネジャットセンターのスタッフに教わったことですが、本当にそれとおりに思います。子どもたちへの支援というのも、現状だけではなく将来につながるものとして大切だと思います。

ただくことはできると思います。現地での体験は大変貴重ですし、勉強にもなると思います。

もう一つ、関心を払っていただくといいことも大切だと思います。イスラム教についての理解も深めていただきたいと思います。イスラムは決して暴力的



受けとった食糧を口バで運ぶ

な宗教ではありません。宗教間の対話ということもやってほしいですね。

——今回のSVAのアフガニスタン支援は、日本国内でどのくらいの規模なのでしょうか。

三浦 「ベシヤワールの会」は5億円の寄付を集めています。私どもは7千万円（三月末で1億1千万円）の規模です。でも、「ベシヤワールの会」もそうですが、国から支援を受けていないという点では……

——2番目くらいになるのでしょうか。
松永 私どもではカンボジア難民キャンプの支援のとき、政府の援助を一切受けなくて活動してきました。それによって臨機応変な行動がとれました。最近は信徒のみなさんの理解も多くなり、大変心強く思っております。今回全曹青のみな様には私どもの姿

勢をご理解いただき、ご寄付をいただきます。以上光栄なことはありません。

池上 私どもも勉強不足ですが、今後いろいろな勉強させていただきたいと思えます。

奥野 ボランティア活動のすそ野も広がるようにしていきたいので、ご指導のほどよろしくお願いいたします。

池上 全曹青は全国に約五十の加入団体があり、以前からボランティア活動に取り組むところも少なくありません。今後も一律というわけにはいきませんが、勉強する機会を設けて、意識づけとなるよう発信していきたいと思っております。勉強しながら、どういことが出来るかも模索していきたいと考えております。キリスト教系の方々や在日アラブ系の方々とも、若い世代での交流も深めていきたいと思っております。

カンボジア難民支援から アジアの教育支援を行うSVA

——SVAではアジアを中心に活動をしてこられましたね。

松永 1980年1月にタイに逃れてきたカンボジア難民の救援を目的に、宗門が「曹洞宗東南アジア難民救済会」を結成し、翌年ボランティア有志

松永 積極的なお考えで、ありがたいことです。日本人はともすると特別の国という意識が強いですね。もっとお互いを知るべきだろうし、そうすることが殺し合いを防ぐことにもつながると思います。

池上 湾岸戦争の直前でしたか、全曹青でもバチカンに行つて東西交流しようという計画がありました。そうしたことが実現していると、もう少し変わったかもしれません。

松永 湾岸戦争もそうですが、キリスト教とイスラム教の軋轢という背景もあるのでしょうか。アメリカは「正義」ということをいいますが、何を中心に「正義」というのか……。梅原猛さんがいわれたように、これからはむしろ仏教の時代かもしれないですね。お釈迦様は、唯一絶対というものはあり得ないといわれています。それぞれの宗教にいい

ことによって設立されたのが、SVAの前身の「曹洞宗ボランティア会」で教育文化支援活動に取り組み、「曹洞宗国際ボランティア会」、さらに99年に「社団法人ボランティア国際ボランティア(SVA)」と改称しました。同じ



SVAの食糧配布を待つ人々(アフガニスタン・シャルシャイ地区)



SVA高橋氏より説明を受ける

ものがあ、おらかな気持ちで全体を見渡すことが大切で、そのために世界に出ていって交流することが大切でしょう。それと同時に日本でも他者を受け入れる姿勢が必要でしょう。



配布を待つ小麦粉と食用油

仏教国ということで、だんだん活動が広がってきたのだと思います。

三部 それこそご縁で、ラオスではキリスト教のところもあります。

——現在、タイでは都市部のスラムや農村での保育園や学生寮の運営、ラオスでは学校建設や教材の制作・配付、カンボジアでは学校建設や職業訓練センターの運営。そのほか、この3か国で図書館活動を行っていますね。ミャンマーでの緊急支援、国内では阪神・淡路大震災などでの緊急支援もされています。国連の支援を受けているところは別として、NGOとしてのSVAの1年の予算は日本での位の規模になりますか。

三部 年間予算は6億円近くですが、

最近では緊急支援でもっと大きい団体があります。たとえば、ピースウィンズジャパン、オイスカ、JENなど、日本で

できた団体で大きなところがあります。——それでも5本の指には入るのですね。

今世紀はボランティアの世紀

「衆生とともに生きる」気持ち

池上 全曹青は今後もどんなことができるか、何かヒントをいただけたらいいですね。神戸の震災のときには炊き出しなどをして、これは得意といえは得意ですが（笑）。

した活動ですね。僧侶は初歩的なノウハウとしては限界もありますが、勉強は必要であり、それが求められていると思います。

三部 それぞれの地域でボランティア活動をするということもあると思います。お坊さんとして「衆生とともに生きる」ということが大切な活動になると思います。苦しみを共にしていこうという姿勢ですね。それぞれが、それぞれの特徴をもって、その場所で行っていく、このことが大切ではないでしょうか。

三部 苦しみを分かち合おうとしていることを分かってもらうことですね。結果ではなく。

奥野 お布施で支えられているお坊さんがボランティアをするのは、いかなものかという意見もありますが、やはり、「衆生とともに生きる」べきだと思いますが…。

松永 宗教家は福祉活動をすべきでない、公的立場に任せるべきとの意見もあります。もう一つ、僧侶としては宗教活動することが対社会的活動だという人もいます。反対に、お布施をいただいているから、何かを返さなければいけないという考えもあります。実際、ボランティアに参加することで、

どちらにしても、お坊さんはいつも問題意識をもって動くことが問われます。社会を見る目を養うことが大事だと思います。

池上 四国の曹青会ではえひめ丸沈没事故の一周忌に参加されました。そうですね。

松永 そう、足元での活動がだいじです。

池上 ボランティアも同じで、衆生サイドということでは、坐禅ともベースは一緒なのです。

松永 今世紀はボランティアの世紀ともいわれます。仏教信者として大事なことは教えを守り、できないことはできないこととして振り返る、中心となるものをしっかりとついでしょ。坐禅をすることは、多くの人々の苦しみを救う誓願を立てていくということでもあります。今こそ、そうした根本が問われる時代ともいえます。

——本日はありがとうございました。



SVA、アフガニスタン東部で7000世帯に食料・日用品の配布を開始

既報の如く全曹青では「禪文化学林東北大会」にて募金を呼び掛け、112、668円の浄財が集まり、併せて全曹青ボランティア基金から1,000、000円を支出し合計1,112,668円をSVAに寄付させて頂きました。

SVAでは1月7日より3週間にわたり、市川齊地球市民事業課長を派遣し、パキスタン国内のアフガニスタン難民キャンプでの子供支援活動の調整、アフガニスタン東部での第二次食料配布を行なった。以下は市川職員の報告を集約しました。
アフガニスタン・ロダット郡で

食料配布を実施
ここはパシュトゥン人が20民族に分か



子供たちは生き生きした顔になった

れている。元来客、訪問者を大切にするという伝統があり避難してきたものには例え敵であっても食事を提供するという為食料事情はさらに悪化している。1月19日快晴。午前9時からの食料配布にかかわらず、多くの人が早朝から配布チケットを持って並んでいる。今回の配布は各世帯に米7kg、豆5kg、食用油5kg、お茶1kg、砂糖5kg、そして棒状の石鹼2本である。小麦粉より米の方が炊事の燃料が少なく済み、また現金収入が乏しい農民にとっては砂糖と食用油が貴重なエネルギー源だという。

配布対象の7000世帯は、親を亡くした子供、夫を亡くした妻、障害者、高齢者のいる世帯を基準に設定した。1月19日からの3日間は第1回目であり、1200世帯を目標に初日は375世帯に配布した。7000世帯に配布を完了するのは、2月12日の予定である。廃虚のカブル、食料配布に先立つ、1月16・17日の両日は、カブルに滞在した。人口は約200万人。全体では7割前後の建物が倒壊、市内の南半分と西側は全壊に近い。生活基盤や産業など壊滅状態である。タリバン時代と比べて変わったところは、音楽が聞けるようになったことと、デモクラシーが少し進んだことと、女性が一人で職場に行けるようになったことぐらいだという。

子供の状態が驚くほど改善—

パキスタンにあるアフガニスタン難民キャンプでの子供救援活動

パキスタンのペシヤワルから車で1時間、東へ約40キロにニューアコラハタク難民キャンプがある。人口1万5000人のこのキャンプで小学校に行く年齢の子供は、推定で1000人。NGOが運営している小学校が4ヶ所ほどあるが就学率は60%前後だという。残りの子供はくず鉄やポリ袋を集めたり、物乞をしたり、物を売ったりして生活費をかせぐが、中には生活費が苦しくなると子供を売る難民世帯もありこの事態を危惧したネジャットセンター(アフガニスタンのNGO)とS

V A共同で、子供難民支援プロジェクトを昨年11月からスタートさせた。今回は、事業開始以来初めての現地入りである。このニューアコラハタク難民キャンプセンターに通う子供たちに洗髪、ブラッシング、爪きり等、生活最低限の躰を教育している。プロジェクト責任者のナデラジャンさんは「2ヶ月の間で子供達は生き生きして、子供らしい顔つきになった」と、語った。

この事業を軌道に乗せていくよう努力していく。

今回の食料配布の実施と調査の結果、SVAはさらに、交通手段が乏しく食料事情が厳しいアフガニスタン東部のナングラハル州及びコナル州、ラグマン州の山岳地帯での食料支援と、カブル市内での子供を対象とした補助食料配布を次の食料配布として検討している。5月頃には小麦粉の収穫が見込めるため、それまでの当座の支援として、現在、第3次食料配布を行っている。



青竜山 茂林寺

ぶんぶく茶釜のお寺

タヌキ・タヌキ・タヌキ



門前のお土産店にはタヌキがびっしり!

群馬県館林市、東武伊勢崎線「茂林寺前」駅を下車し道なりにしばらく歩を進めると雑木林の中に茂林寺がある。寺の門前のおみやげやさんには個性的な表情を持つタヌキたちが所狭しと並び、観光客が一つ一つじっくり眺めていた。



山門をくぐると二十二体のタヌキがお出迎え!

山門をくぐると、二十二体のユーモラスなたぬきの像が迎えてくれた。境内には、サワラやエノキなどの

大木や雑木林がうつそうと繁り、分福茶釜伝説の主人公「守鶴(しゅかく)」を祭った守鶴堂や、元禄三年(一六九〇)に寄進された高さ2・3メートルの聖観音菩薩座像、巖谷小波の「ぶんぶく茶釜の碑」などが並び、萱葺(かやぶき)の山門、本堂と共に長い歴史の重々しさを伝えてくれる。

分福茶釜のいわれ

その昔、時は応永年間、茂林寺を開いた禅師に従って「守鶴」という僧が伊香保から来た。以来守鶴は代々の住職に仕えたが(ずいぶん長生きしたそうだし)、一五七〇年の夏、千人法会(大勢の客人を寺に招いてのお茶会)が開かれた際、大勢の人に出す湯を沸かす大きな釜がなく皆が困っていると守鶴がどこからか一つの茶釜を持ってきた。すると、不思議な事にその茶釜はいくらお湯をくみ出しても空にならない。守鶴はこの茶釜に「紫金銅分福



紫金銅分福茶釜

「トボウヤーヨイコデネンネシナ」。はりわたされた一本の綱を茶釜に毛深い手足が生え、間の抜けた狸の頭がついた奇妙なものが渡っていく。押しかけた見物人は、わいわいと騒いでいる。いわずと知れた「ぶんぶく茶釜」の一場面である。子供の頃誰しもが一度は親しんだ事のある話である。今回のお寺散策はまさにこの「ぶんぶく茶釜」が安置してあるという『茂林寺』である。

茶釜」という名前を付けた。守鶴はその後、一六一年間も茂林寺に仕えた後行方不明になる。後に守鶴のことを「たぬきの化身」と言う人があって、おとぎ話に発展したそう。

所狭しと並ぶ寺宝の数々

寺宝の「紫金銅分福茶釜」は、くんでもくんでもお湯が尽きることがないという伝説やたぬきの茶釜の童話の由来として有名だが、この他にも後柏原天皇・後陽成天皇の綸旨(りんし)や徳川家光・吉宗の御朱印、榊原康政・忠次の制札など歴史的な遺産も多く残されている。

また、本堂の前には、その葉が尖っていることから、開山の時、魔除けとして植えたと伝えられるラカンマキとヒイラギの古木が五百年を越える枝ぶりを顕示している。特にラカンマキは、その樹勢もよく、県の天然記念物にも指定されている。

つつじヶ丘公園

茂林寺から北に少し足をのばすと国指定名勝の「県立つつじヶ丘公園」がある。園内には樹齢千年のつつじがある。古来、野生のヤマツツジが密生していたのを歴代城主と、その後の郡長の庇護により、今日では3万3千坪の園内にヤマツツジ系、オオヤマツツジ系な

ど50余种、約1万株の巨樹が並んでいる。四月中旬から五月中旬にかけては満開になり、見事なつつじトンネルが出来る。茂林寺で、御利益をお祈りした後ピクニックがてら足を運んでみられてはいかがだろうか。

瓦葺きの本堂



アクセスデータ

- 所在地 群馬県館林市堀上町1570
- 電話番号 0276-72-1514
- 最寄り駅 東武伊勢崎線 茂林寺前駅
- アクセス 茂林寺前駅より徒歩6分
- 狸祭 4月下旬の日曜日
- 館林菊花大会 10月末から11月中旬

- 御利益 開運招福・商売繁盛





環境問題のステリチュアルな視座

第4回

正木 高志

1945年生まれ。東京教育大卒。60年代なかばからインドを旅し、80年に帰郷。90年から91年にかけてモリタナ州立大学に招聘されて環境倫理学を講義。著書に「スプリング・フィールド」(地湧社刊)。熊本県菊池市在住

アメリカ

アメリカの恐怖

ニューヨークのテロ事件に対するアメリカの反撃は、アフガニスタンを徹底的に攻撃し、フィリピンやイエメンやソマリアに軍隊を派遣し、いまやイラクへの攻撃も辞さないとしている。なぜそこまでやらなければならないのか、気が済まないのか。僕には理解できないし、過剰反応であると思えない。

アメリカで講義や講演をしたときに僕は、「どうしたら恐怖心から解放されるでしょうか」という質問を何度も受けた。クリシュナムルティも、ダライラマも、ティク ナット ハンも、アメリカでくり返し「恐怖心」というテーマについて語っている。

ところが日本では「恐怖」というテーマがとりあげられることはあまりない。精神世界の本にも、禅書にも、ほとんど語られていない。おそらく「恐怖心」は、欧米人にとっては重大な問題なのだが、日本人あるいは東洋人にとってはあまり問題にはならないのだ。それがなぜなのか、僕はずっと不審に思っていた。

たぶんそれは、アメリカが力によって社会を築いてきたことによるのだら

う。人は弱

いから恐怖心を抱くのではない。強さを求めるから恐怖心を持つのだ。強大な軍事力を備えたアメリカはいま、さらに軍備を強化して世界中に配備しようとしている。

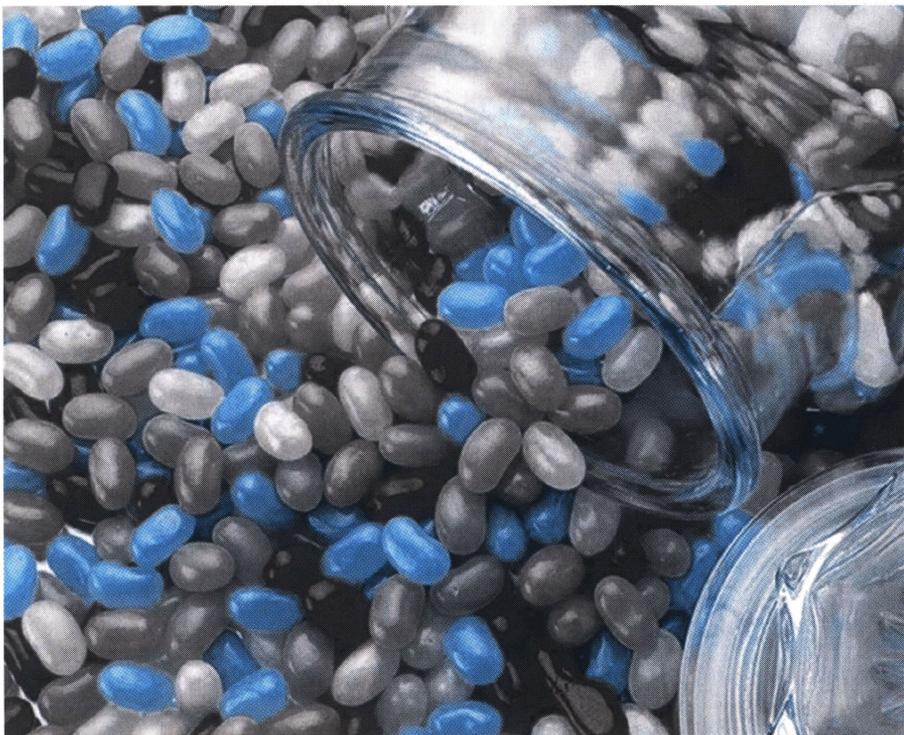
そこにはアメリカの持つ「恐怖心」という実存的な問題が潜んでいる

のではなからうか。力を誇る社会の強迫観念である。

このゼリーがアメリカだ!

これはかつてインドを遍歴していたころの話だ。

ニューデリーから南へ二〇キロメー



いる。月の明るい夜などには、ほんとうに自分が海の底を歩いているように感じたものだった。メローリの村でバスを降りて一五分くらい歩くと、廃墟のなかにアショーカ・ミッシンという仏教寺院がある。カンボジアのお坊さんによって開かれた寺で、本堂や庫裏が廃墟を修復してつくられていた。五、六名の僧が畑をつくって暮らしており、庭には放し飼いのクジャクが遊んでいた。六〇年代にはヨーロッパやアメリカなどから大勢の若者たちがインドへやってきたが、そんな旅人たちがこの寺に立ち寄るようになって、ひと頃は常時二、三〇人が周辺の廃墟を宿にしていた。

アショーカ・ミッシンには僕は幾度もお世話になり、老師に多くの教示を受けた。ベトナム戦争がカンボジアやラオスにまで飛び火したところで、寺には戦争に反対して国を追われてきた僧たちもいた。

あるとき老師が大きなゼリーの袋を手に乗るところへやってきた。

袋のなかには赤や緑やブルーや黄色など色とりどりのきれいなゼリーが入っていた。その袋から老師はゼリーをひとつ取り出してくれた。お腹をすか

トルほど離れたところにメローリという村がある。村は一三世紀頃の遺跡のなかにあつて、見渡す限り廃墟が広がっている。レンガづくりの城壁や寺院の跡が、まるで海底に沈んでしまった都市の残骸のように累々とつらなつて

せていた僕はよろこんで、さっそく口に放り込んだ。すると老師が、もうひとつ欲しいかね?と訊く。うなずくと、また一個取り出してくれた。それを食べ終わるとまた、もうひとつどうだ?と言う。

インドに永く暮らしているとアメリカ製のゼリーなど夢のようにきれいに見えるもので、ものすごくおいしい。ましてそのころ僕は乞食のような生活をしていただけで、そうやって、つきからつぎに十個ばかり貰って食べるうちに、いくら欲に目が眩んでいたとはいえ、これは老師が何か言っているな、ということが僕にもうすうす感じられた。そこで、しぶしぶではあったけれど、「もういりません」と小さな声



で断わった。すると、それまでニコニコしていた老師が突如真顔になって、「いいかね、このゼリーがアメリカなのだ!」

と厳しく言い放ったのだ。

あくなき収奪の動機

そのころはカンボジアで、ベトナムで、あるいはインドで、経済大国の犠牲となった大勢の人々が飢え苦しんでいた。植民地的支配に抵抗する多くの人々が虐殺されていた。寺にはそれを目の当たりにしてきた人たちが何人も来ていた。一方のアメリカやヨーロッパや日本では、人々は贅沢な暮らしをしていた。ご馳走に飽き、ケーキや果物やゼリーがあふれていた。僕はそんな文明社会を拒絶してインドへやって来てたつもりでいた。しかし恥ずかしいことに、美しいゼリーにあえなく魅了されてしまい、なんの抵抗もできずに餌に喰らいついてしまったのだ。

ゼリーをもらってよろこぶ心は、僕に染みついていったアメリカ力だった。老師が言うように、まさにゼリーはアメリカ力だった。食いつけば針に引っ掛かって逃れることのできない物質社会のゼリーだ。そして、富める人々のゼリーへの飽くなき欲望こそ、彼らが——僕らがというべきか——環境から収奪をつづけている動機なのである。

ゼリーに抵抗することのできない自分自身への疑問を抱くこ

となしに、戦争や環境問題を憂えていた僕の甘さと矛盾とを、老師はそんなふうにしてえぐり出して、戒められたのだ。

アメリカンドリーム

豊かさに満足できないのが豊かな社会の特徴である。モノは持つても持つてもつきからつぎに欲しくなる、食べても食べてももっと食べたくなる、蓄えても蓄えても安心できずにさらに増やしたいと願う。僕のゼリーとおなじで、二三個食べれば満足しそうなものだけれども、それがそうはいかない。身体が必要とするのではなく、心が欲するからだ。

人はどうすれば満足するか?

二つの方法がある。ひとつは、もちろん、欲しいものを手に入れること。これは外面的、物質的なアプローチである。そしてもうひとつは、欲望を小さくすること。これは内面的、精神的なアプローチだ。満足するためにはこの両者が必要不可欠である。そうでないと人はけっして満足できない。

現代社会が後者を無視しつづけてきたのは明らかだ。最大の欲望を最大限に実現するというのが物質文明の頂点に立つアメリカのモットーである。アメリカンドリームには(もうこれでもいい)という限界はない。これでもかこれでもかと求めつづける。満足などしていたら競争に負けてしまう。

あらゆるモノはゴミになる

日本経済の低迷を打開するために消費を拡大しなければならないという大

合唱が政界・財界・マスコミをあげて叫ばれている。こんなにモノが余っているのに、せっかく国民が節約しようとしているのに、どうしてモノを買え買えと迫るのか。

僕たちが買うモノはすべて環境から削り取って生産される。しかも買ったモノはみな後でゴミとなって環境に捨てられる。家もビルもデパートも、道路もダムも原発も、船も新幹線も飛行機も、あらゆるものはゴミになる。そのため環境も僕たちの身体もこんなに病んで苦しんでいるのではないか。今でさえこんなにモノとゴミに埋もれて生活しているというのに、どうしてこれ以上要りもしない消費を無理強いる必要があるだろう。これもまた、アメリカを夢見て懸命に走りつづけてきた豊かな社会の、病める強迫観念だ。

イエスキリストの「貧しき者はさいわいである」という言葉は、精神的な謙虚さのことであるが、物質面から見ても、「貧しき者はさいわいである」と思う。あるとき、「自分にとっていちばんうれいことは何だろうか?」と考えてみた。答えは、「花や鳥にかこまれて暮らすこと」だった。環境との関係を勘定に入れて考えるとき、人間にとってもっとも幸福な経済とはジョージ・ソロスやビル・ゲイツのアメリカンドリームではなく、良寛や聖フランシスが示したような、「必要最小限の収入と必要最小限の支出」ではないだろうか。



— 犯罪を行った精神障害者の処遇について —

はじめに

昨年、大阪教育大学附属池田小学校で、小学生らが刃物で刺され、多数の死傷者が出るという痛ましい事件が起こりました。この事件の被告人は、当初言動に異常があったことから（精神障害を装ったとの報道もあります）、精神障害者による重大犯罪に対処する法律の整備について議論がなされる一方、政府は、重大な犯罪行為をした精神障害者の処遇やシステムの在り方をめぐり検討を急いでいます。

現行刑法の規定

現行刑法39条によれば、「心神喪失者の行為は罰しない。」「心神耗弱者の行為は、その刑を減輕する。」とあります。心神喪失者とは、精神の障害により行為の是非善悪を弁別する能力またはその弁別に従って行動する能力のない者をいい、心神耗弱者とは、その能力が著しく低い者をいいます。我が国では、この心神喪失者を犯罪者として処遇せず、治療又は保護の観点から処置することとしています。

なお、検察庁の統計によると、1995年から5年間で心神喪失等により不起訴となった人は31

57人、起訴されたものの裁判で無罪または刑を減輕された人は383人でした。

措置入院について

このように刑事責任を問えずに不起訴や無罪になった精神障害者への手当てとして「措置入院」という制度があります。措置入院とは、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（精神保健福祉法）に基づく強制入院の一つであり、都道府県知事（または政令指定都市長）の措置決定により、都道府県（または政令指定都市）の設置した病院または指定病院に強制的に入院させるものです。本人や家族の同意はいりません。

同法によれば、「精神障害者」とは「精神分裂病、精神作用物質による急性中毒又はその依存症、知的障害、精神病質その他の精神疾患を有する者」をいいます。具体的な疾患名としては、精神分裂病、躁うつ病、心因性精神障害、知的障害、中毒性精神障害等です。

措置入院を行うためには、2人以上の指定医の診察の結果が一致して、①その者が精神障害者であり、かつ②医療及び保護のために入院させなければ、その精神障害のために自分を傷つけ又は他人に

害を及ぼすおそれがあると認められることが必要です。具体的には、抑うつ状態、躁状態、幻覚妄想状態、知能障害等により、自傷行為（自殺等）、自己の生命、身体を害する行為）、他害行為（殺人、傷害等他の者の生命、身体等に害を及ぼす行為）、原則として刑罰法規に触れる程度のもの）を引き起こすおそれがあると認められなければなりません。右のような厳格な要件が科されているのは、精神障害者の人権に配慮したためです。

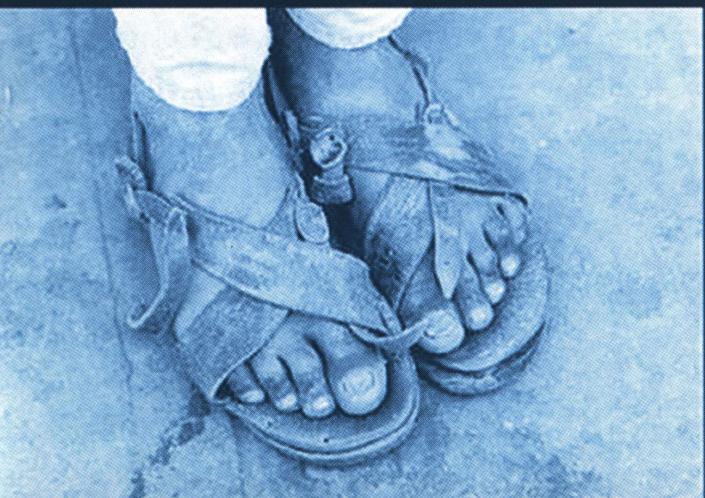
もちろん、措置入院が行われても、医師による診察の結果、入院を継続しなくても自傷他害のおそれがないと認められるに至ったときは、病院の管理者の意見を聞いて直ちに退院させることができます。

措置入院の実情については、行政機関が自発的に精神障害者を発見して収容したり、住民からの申請で入院させるケースは少なく、犯罪捜査の中で被疑者に精神障害があることが判明した場合に、警察ないし検察から都道府県知事あてに措置入院が要請されるケースがほとんどを占めています。

「重大な触法行為をした精神障害者に対する新たな処遇制度（案）」について

最近、放火や殺人といった重大な触法行為を犯罪行為を行った精神障害者の処遇に関する政府による立法作業が急ピッチで進められています。昨年末に自民党プロジェクト案・与党プロジェクト案が次々に発表され、これを受けて本年2月中旬に法務省から日弁連に「重大な触法行為をした精神障害者に対する新たな処遇制度（案の骨子）」が示されました。これらの動きは、冒頭に述べたとおり、昨

Article 9:



No one shall be subjected to arbitrary arrest, detention or exile.

Article 6:



Everyone has the right to recognition everywhere as a person before the law.

・無罪の裁判又は有罪の裁判（実際に刑に服することになった者を除く）が確定した者であつて、右対象行為を行つたこと及び心身喪失者等であることが認められた者

③裁判所の審判

・検察官の申立てにより審判を開始する。

・対象者及び保護者は、弁護士である付添人を付ける。

・検察官、付添人等は、資料を提出し、意見を陳述する。

・処遇の内容は、1名の裁判官及び1名の精神科医の意見が一致したところにより決定する。その際、精神障害者の保健及び福祉の専門家の意見を求めることができる。

④処遇の決定

(a)入院決定

↓入院させて医療を行わなければ、再び対象行為を行うおそれがあるとき、医療を受けさせるために入院をさせる決定。入院期間の定めはない。

(b)通院決定

↓継続的な治療を行わなければ再び対象行為を行うおそれがあるとき認められるときに、入院によらない医療を

受けさせる決定。通院期間には上限を設ける。
(c)この法律による医療を行わない決定のいづれか。

新法案の問題点

新法案に対しては、「精神障害者を社会的に見てやっかいな存在であるとして、その隔離を中心に精神障害者の人権を不当に制限する危険をはらんでいるものといえる。」との批判があります。また、「基本的に医療・医療行政の問題であるはずの精神障害者の処遇を司法の一環と位置付け、裁判所が判断するものとしている」など、多岐にわたる問題点が指摘されています。

この点、日本弁護士連合会からは「再び対象行為を行うおそれ」（いわゆる再犯のおそれ）の予測は医学的にも困難なものとされており、その予測の信頼性は極めて乏しいものであるのに、政府案では、それを理由として無期限の入院が可能とされている。「政府案は、事実の取調べや責任能力の有無の判定に際し、憲法31条以下の適正手続の保障を認めていない。」「政府の分離施策は、精神障害者の人権を踏みにじり、精神障害者に対する差別と偏見を助長するものとなるりかねない。」と言った痛烈な批判

がなされています。このような様々な問題点が指摘されている以上、新法案については、今後さらなる議論と検討が必要であると思われれます。

最後に

精神障害者とはいえ、重大事件を起こしながら短期の治療で社会に出していいのかという疑問はありえましょう。

しかし、冒頭の池田小学校事件に関して言えば、精神疾患と事件との間に客観的な結びつきが一切明らかにされていないにもかかわらず、メディアは「容疑者に措置入院歴あり」「精神科に入通院歴あり」と報道し、精神障害者に対する偏見を著しく助長する結果となりました。実際それを契機に、精神障害者の社会復帰支援施設の建設に対する地域住民による根強い反対活動が広がっています。

現に偏見に苦しむ精神障害者の人権の保護や重大犯罪を行った精神障害者の処遇のあり方については、まだまだ議論の途中にあり、今後関係各々からの検討を重ねることが不可欠でしょう。

文・見野彰信

早稲田大学法学部卒。民事・刑事・家事など法律問題一般を扱う。野田信彦法律事務所（札幌市）所属。

(心神喪失及び心神耗弱)

第三十九条① 心神喪失者の行為は、罰しない。心神耗弱者の行為は、その刑を軽減する。

年起きた池田小事件が強力な追い風となつていると考えられます。

「骨子」の概略は、

①対象行為

放火、殺人、強姦、傷害、強盗等（未遂を含む）。

②対象者

・不起訴処分をされた者であつて、検察官により、右対象行為を行ったこと及び心身喪失者又は心神耗弱者であることが認められた者

情報技術の発達などにより肥大化し、富の寡占化や、南北問題などそのひずみを露呈しだした現代経済。近代物質主義を基盤とした価値観が揺らいでいる今、一九七三年にシユーマツハによって提示された「仏教経済学」が静かに注目を浴びています。我々仏教徒としても興味深い「仏教経済学」についての武井先生のお説を解説していただきます。

仏教経済とは？

私と名刺交換すると、大抵の人は、駒澤大学「仏教経済研究所員」の肩書きについて、訝しげに「仏教経済って、何！」と聞いてきます。極めてもつともな疑問ではありますが、話せば長くなり、また簡単には答えられないので、二六〇〇年の歴史の上に立つ「お寺さんがどうやったら経済的にもやっていくのか」を根本的に研究するものです、ということになっています。

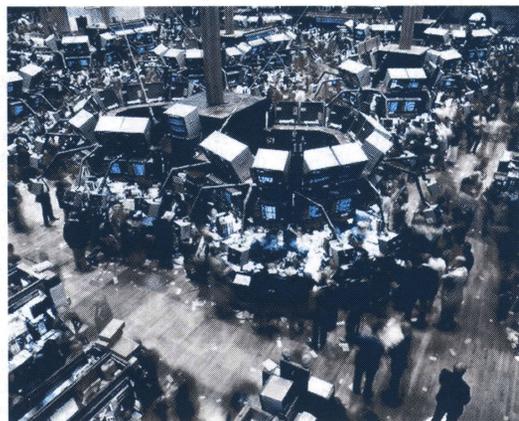
もちろん、こんな答えでは納得してくれません、私も今から36年前に、たまたま小生が大学院生の頃、恩師の難波田春夫先生（故人）のお供をして設立間もない、駒澤大学「仏教経済研究所」の研究例会に参加する機会を得ましたとき、「仏教と経済の関係の学」は成り立つのかという公案をもらったと心底から思いました。

爾来今日までこの公案を考え続け、これまで試行錯誤の結果を論文や著書

で発表してきました。まだ完全な答えを出し得たとは思っていませんが、30年近く考えてきたころ、ひと区切りがついたと思えるようになりました。特に、一九七〇年にシユーマツハが『スモール イズ ビューティフル』という著書の第四章で八正道の一つの「正命」に根拠を置く「仏教経済学」の提唱が打ち出されてからは、その感を強くしました。

資本主義経済体制と仏教

多くの僧侶も今日の経済は、「資本主義経済体制」で、「お金」が万能である「貨幣経済」あるいは「市場経済」であるため、「仏教と経済」を両立するのは不可能な、水と油の関係にあると実感しているのではないでしょう。か。このように感じている限り、深奥な仏教哲学を学んだ僧侶でもあるいは



厳しい修行を積んだ人でも、この壁に弾き返され続けます。

まして、「IT革命」の進展によって、インターネットで世界中の情報がリアルタイムでつながることで経済もグローバル化ないしバーチャル化する時代がきていると思っている人が多いが、それが仏教とどう関係するのか。

「経済学」って、何!



武井 昭

高崎経済大学経済学部教授・付属産業研究所所長、駒澤大学仏教経済研究所員。

1942年大阪市生まれ。昭和44年早稲田大学大学院修士課程終了。その後、高崎経済大学助手、専任講師、助教授を経て、昭和59年に教授、現在に至る。

(著書)

「仏眼で読む日本経済入門」(経済界)、「生活と福祉の社会経済学」(高文堂出版社)等がある。

こんなことを質問されたら、僧侶は一体どう答えればよいのでしょうか。大抵の僧侶はこの答えに窮してしまします。その時には、「仏教がなぜ二六〇〇年以上も存続してきたのか」という事実を厳粛に受け止め、それを「現代」に応用したらどうなるか、というところから、考え抜いたものを答えれば良いのです。ただその答えは、その人だけの一回限りの思いつきの印象を与えるようでは説得力がありません。それが坐禅などの修行と合わさって絞り出るとき、はじめて現実の社会を圧倒する説得力のあるものになります。今日の経済は余りにも複雑で高度であるため、残念ながら、誰もがこの公案に取り組もうという気になれる状



況にはありません。

しかし、徐々にではあるが、それが

肉眼ではなく「仏眼」で見る

しかし、その場合に、仏教学と経済学の両方に通曉できなければならぬ、と考えている限り、いつまでたつてもいま起こっている変化に手をさしのべる術に気がつくことが出来ません。況わんや、「グローバル経済」や「インターネット経済」の到来をバラ色の未来と取り違える若者が多いが、この誤りに若い仏教

出来てきています。特に、一九七〇年を境にして、例えば、地球環境の破壊、クローン人間の誕生、安楽死・尊厳死などの人間存在の根幹にかかわる問題、さらに、エネルギー危機、食糧危機、資源危機、さらには、餓死者の増加、民族戦争・紛争、高齢化・少子化、精神病患者・凶悪犯罪者数の増加などの社会問題、失業者数の増大、金融パニック、貧富の格差の拡大などの経済的問題は宗教的次元で捉えなければ、もはや解決できないと多くの人は思う状況にあるからです。

者まで陥つているとしたら、それは「仏教」と「経済」を分断して捉えている証左です。こうした考えを一刻も早く払拭するには、現代経済を肉眼ではなくて、「仏眼」で見、さらに修行によってその実相に迫ることです。以上のことから、「仏教経済学」とは、現実の経済の「修行」による「証契」の可能性を探る工夫の全体をいうといえましょう。口で言う



のは易しいが、それを自らのものにするには、どんなときにもそれに務めなければなりません。次回以降で、私の考えてきた工夫の一端を提示したいと思います。

「仏教経済学」

禪

SOSEI INTERNATIONAL

「アメリカン・ソートー・ゼン」 (アメリカ製の曹洞禅)の展開



タサハラ禅センターにて

レイ・ピープル・ゼン

前回、一口に「アメリカの曹洞禅」といつてもそこには大きく違って二つの流れがあることについて触れました。そして、それを仮に「エスニック曹洞禅」と「エリート曹洞禅」とよびました。わたしはここ十五年ほどアメリカ東海岸の一隅にある小さな坐禅堂の住持として曹洞禅を教えてきました。そこで縁のあった人たちはほとんどが、そこで縁のあった人たちはほとんどが学歴の高い中流階級のヨーロッパ系アメリカ人でした。ですからわたしは「エスニック曹洞禅」ではなくあくもらかに「エリート曹洞禅」という文脈のなかに身をおいて生きてきたことになりません。今回はこれまでわたしが見聞してきた範囲で「エリート曹洞禅」の特徴についていくつか触れてみたいと思います。

まず第一に、それは数の上から言えば圧倒的に「在家修行者」が中心となっている「レイ・ピープル・ゼン」(在家禅)です。彼らのほとんどはあくまで在家の身のままで日本ではおもしろい出家者が独占的にやっている坐禅の修行や經典の学習を彼らと質量ともに同等に(少なくとも意識の上では)やろうとしています。(鈴木俊隆老師は弟子達に向かって「あなたたちは特別の人達だ。厳密に言えば僧侶の修行でもなく、かといって在家の修行でもない特別な修行をやろうと欲している」と語っています)そこには、自分達に興味があるのはアジアで在家修行者がやっていることではなく、これまで僧侶によって独占されてきた瞑想修行や仏教哲学の学習の方なのであり、また自分

たちはそれをじゅうぶんやることのできる資格と能力をもっているのだという確信と自負があります。或る人いわく「アメリカ人は、アジアにおける多くの在家仏教信者のように、現世利益やよりよい来世を願って、高座に坐って瞑想している僧侶たちに花やお金を供養しそれをありがたく拝んで帰ってくるだけでは満足しない。彼らは現世において自分たちもそこにあがって彼らとおなじく瞑想し同じ境地にいたろうとするのだ」。もちろんアメリカ人禅僧もかなり存在しますが、アジアにおけるほど出家と在家の区別は重視されていませんし(伝統的仏教国におけるように出家に特権的地位を認めることは平等主義的価値観を重視するアメリカにはそぐわない)、アメリカ人禅僧の多くは仕事や家庭をもっていますから(在家が独身の出家者を経済的に完全にサポートするアジアのようなシステムはまだアメリカには確立していない)その点では在家修行者と変わりありません。いまのところ「エリート曹洞禅」は圧倒的に「在家禅的傾向」が強いと言えます。かれらのなかには「日本のお坊さんは葬式や先祖供養といった儀式ばかりやっていて肝心なための坐禅や聖典の学習を怠っている。



台湾の聖巖禪師の接心にて

自分たちは在家でもこつちのほうがよほど熱心に修行している」という在家修行者としての自信をもっている人たちもけっこういます。これに関連して、伝統的仏教教団にみられる厳格な上下関係や階級組織に比べればはるかに個人主義的・民主主義的なやりかたでセンターやグループが運営されていること、またそういうあり方が強調されていることも指摘しておくべきでしょう。

■ ジェンダー・イクオール・ゼンとソーシヤリー・エンゲイジド・ゼン ■

う。たとえば日本の僧堂などで採用されている「目上の者がぼろくそに叱って鍛える」といったような伝統的教育

方法はそのままの形ではアメリカではとうてい受け入れられません。

第二に、それは「男性優位禅」ではなく、「ジェンダー・イクオール・ゼン（男女平等禅）」です。禅センターの構成員に占める女性の修行者の割合が非

常が高く、男女が同じ場所を平等に分ち合って修行するという形態をとっているところがほとんどです。女性を指導者として活動している禅センターやグループも珍しくありません。フェミニストたちがユダヤ教

やキリスト教を見限って仏教に流れてきていることがその背景にあるという指摘もあります。熱心な女性修行者・指導者の存在が「エリート曹洞禅」にとつてもつともラディカルで創造的な原動力のひとつになっていると思えます。

第三に、それは「ソーシヤリー・エンゲイジド・ゼン（社会に関与していく禅）」です。つまり社会的な諸問題（平和・社会的平等・ホスピス・環境問題・教育など）に対して禅の立場から積極的に具体的にエンゲイジ（関与）し活動しているこうとする禅なのです。この点については次回でももう少し詳しく触れるつもりです。

このほかにもまだいくつか特徴をあげることができますが、すでにこの三点だけでも日本の曹洞禅とはかなり異なった「アメリカン・ソートー・ゼン（アメリカ製の曹洞禅）」が活発に展開しつつあることを感じつついただけないかと思えます。そこにはいろいろな問題点もたしかにありますが、かれらの修行にかけ

る熱意、禅を生活に生かそうとする真剣な態度、その取り組みの大胆さには感心するほかありません。内部からの



禅マウンテンモナスタリーにて

根本的な変革を迫られている本家日本の曹洞禅はいまやかれらから謙虚になにかを学ぶべき時ではないでしょうか？ すくなくとも相互理解への道を開く努力をはじめるときではないでしょうか？

文・藤田二照

1954年、愛媛県生まれ。1987年、米国マサチューセッツ州ウアレー禅堂の住持として渡米、現在にいたる。著書に『新ころのシルクロード』（共著、佐賀新聞社刊）、訳書に『テイク・ナット・ハン「禅への鍵」』（春秋社刊）等がある。

◆今話題のインターネットとは◆
**インターネットの
 世界をのぞいて
 みよう!**
 〈19〉

青年会単位ではホームページを立ち上げ、メディアを利用して広報・教化と活発に活動しているところもあります。今回は、岩手県曹洞宗青年会のホームページに注目しました。ホームページを開発しようと思っている青年会やこれからの時代を考える布教教化の場としてのホームページのあり方を考えてみましょう。

ホームページの開設

最近のインターネットブームで、一般の人たちに限らず、寺院の和尚様方もコンピューターを使い、情報の整理や収集をされているのではないのでしょうか。そんな中、岩手県曹洞宗青年会（岩曹青）では平成11年4月よりホームページを開発しております。その頃、他の曹青でホームページを開発しているところはまだ少なかったのですが、当時会長でいらした平井正道師の一声で岩曹青のホームページを作成することとなりました。

開設といっても何をどうしてよいか皆目見当もつかず、コンテンツ（ホームページの内容）をどのようにするか、どの位の間隔で内容を更新するかなど問題は数多くありました。その後、執行部内で話し合いを進めた結果、
 ・岩曹青の活動報告
 ・会報誌 曹青通信「いわて」の掲載
 ・頒布物の紹介
 ・一般向けの坐禅の仕方紹介
 を中心として掲載することになりました。

当初は、ホームページを開発することに重点を置き、内容については徐々に増やしていくことにしました。

まず活動報告や会報誌曹青通信「いわて」、頒布物の紹介については、その時々情報に掲載することとしました。現在でもアクセスしていただければ、岩曹青の活動状況が一目でわかるようになっております。そして一

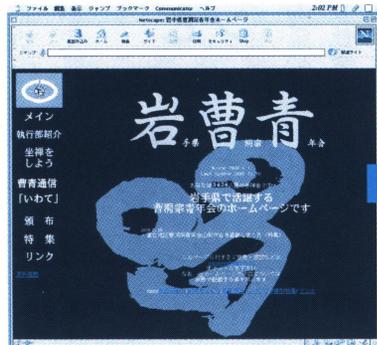
般向けの坐禅の仕方を紹介するページについては掲載する写真や文章などをどうするかという問題になりましたが、丁度この頃、一般の方々に坐禅を広めることを目的としたビデオとカセットを作るというプロジェクトも進められていましたので、その原稿を少しアレンジして掲載いたしました。

ところでホームページというのは内容もさることながら見た目もとても重要となります。メインのページもはじめは文字だけであまりパツとしたものではありませんでしたが、今ではデジタルカメラやスキャナ（写真を取り込む機械）などで取り込んだ画像を使い、見た目でも綺麗なページを目指しております。

そして更新時期や頻度というのも重要です。定期的に更新するのがいいのですが、必ず無理が出てきます。岩曹青のホームページは何か行事を行った時や、機関誌の発行に合わせて更新しています。「無理をせず」「細く長く」がコツと考えて取り組んでおります。

これからはもっと内容を充実させ、一方通行の情報発信だけでなく、相互的に情報をまとめることの出来るホームページを考えていきたいと思っております。

今回ホームページを作る迄の経緯を少し紹介させていただきました。新しいことを行うにはやはり色々な問題がでてきますし、更新作業など面倒であります。しかしそこから一歩踏み出してそれぞれの曹青の個性あるホームページを作っていただき、全国各曹青間の情報交換がよりスムーズに行われればと思われてなりません。



◆岩曹青ホームページアドレス◆

<http://www.nnet.ne.jp/~gansosei/>

パソコン通信研究委員会からの御願

全国曹洞宗青年会ホームページ「般若」では全国の坐禅会情報を掲載いたしております。この中には現況と異なる情報（主催者の名称の変更・開催日や時間等の変更・指導者の変更を必要とされるものなど）が存在しているものと思われる。ご確認いただきまして、変更・不都合な点がございましたら下記までご一報いただきますようお願い申し上げます。

なお、坐禅会の新規登録やホームページリンクのご依頼に関しましては下記までお知らせ願います。

全曹青ホームページからの問い合わせ <http://www.sousei.gr.jp/form.html>

または、〒849-4251 伊万里市山代町楠久360（本光寺内）パソコン通信研究委員会委員長 小島宗彦

E-mail sogen@honkoji.net FAX0955-28-0272



データベースソフトについて 名簿管理その1

はじめに

一昔前ならばデータベースなどというと、大企業でプロフェッショナルユーズなものと思われていましたが、今ではソフトの中で指示に従って作ってあげれば、比較的簡単に自分で思っているような形式を作れるようになりました。

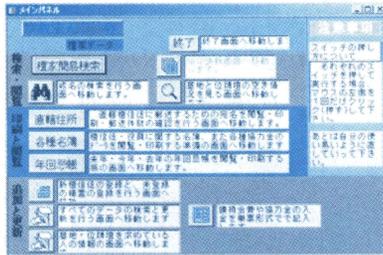
特にデータベースで中心となるのが名簿管理と思われます。

以前にこのページでも紹介したように、宛名印刷ソフトを利用することは最も手軽な方法ですが、より多岐にわたる情報を必要とされている方には、データベースソフトの活用が将来的にも有効であると言えることでしょう。

■檀信徒名簿の管理について

近年のパソコン普及率の増加と共に、各社より寺院専用の檀信徒データベースソフトが多く販売されておりますが、ある程度パソコンになれてきた方ならば、自分でも市販のデータベースソフトを使って、自分流に檀信徒データを管理することが出来ます。

その際には、各寺院の状況に合わせて、項目を設定でき、後から気付いた点をいくらかでも追加改良できるという利点もあります。



■データベースソフトによる名簿管理

年賀状ソフトや表計算ソフトでも、データ管理は出来ますが、詳細にわたる自由さから言えばデータベースソフトは利用価値が高いものと思えます。

また、一度要領を得られれば、檀信徒データベースのみならず、様々な面において応用が利くことも実用性の高さといえます。

私が個人的に利用している、大手ソフトメーカーのデータベースソフトでは、基本データを様々な項目で入力しておけば、その中から必要なデータの抽出が可能であり、数値を計算したり、並べ替え・レポート印刷・さらには表計算ソフトへのデータ変換・ワープロソフトへデータの差し込み印刷等、様々なことが出来ます。

この機能によって、登録会員が退会する際には、チェックボックスの記録一つで会員名簿等から削除が出来、会費請求の際にも、過年度分が未納の場合その旨を会費請求のお願い状に差し込み印刷が出来、さらに

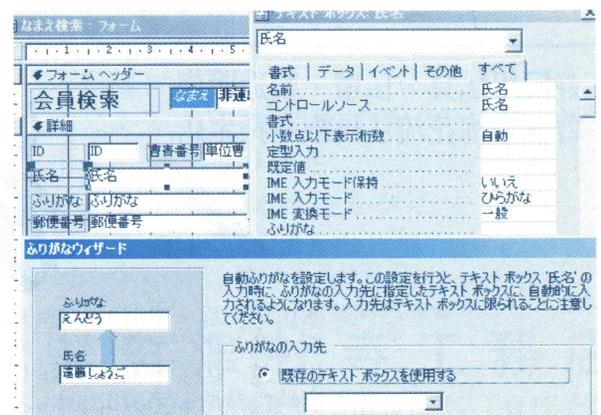
振替用紙に相手の住所氏名電話番号等も記載出来ることなどは、便利な使い方の一例に過ぎません。

また、基本データを設定する際には、氏名は当然ですが「ふりがな」も予め設定しておいた方が良いと思います。一般的には半角カタカナの設定でも全角ひらがな文字での氏名検索が出来ますし、漢字で氏名を入力する時に自動的にふりがなをその項目に入力してくれる機能を多くのソフトが持っていますので、仕事も楽になることでしょう。

今回のレポートでは、特定のソフトを紹介し使い方を記述することは不可能ですので、皆様のお近くの方が利用しているソフトをご覧になり、自分にあったソフトを購入することをお勧めいたします。

最初から完璧なデータベースを作成することは不可能ですが、先に記述した通り、基本データは一旦入力して記録させておけば、後は必要と思われる事項を追加することも、データ変換も出来ますので、試行錯誤を繰り返しながら、自分が使いやすい（自分だけが使える物でも結構だと思います）形態を作り上げて頂きたいと思います。

その際には、ソフトに添付されているサンプルデータや、市販の解説書から、「これは使えそうだな」と思われる点をコピー・引用することも必要と言えるでしょう。





全曹青による慕古事業が いよいよ始まりました。

これまで幾度となく会議を重ね検討して参りました慕古事業の具体案が決定いたしました。これまでの流れと先般開催された慕古事業実行委員会（全曹青評議員会）、慕古事業特別推進会議（執行部会および理事会が主体）の結果をお知らせいたします。

はじめに

平成14年は大遠忌の年に当たるところから、全曹青としても何か独自の事業を展開し、

報恩の修行をすべきではないかとのご意見を様々なところから頂戴いたしました。これを受けて平成13年5月に「大遠忌に関する事業アンケート調査」を実施し（本誌115号11ページ参照）会員諸師

のご意見を集約いたしました。その後7月に大本山永平寺にて、大遠忌事務局と対話し、平成14年8月30日に「青年会の日」を設ける

ことが御本山側の提案で決まりました（同号10ページ参照）。早速、総合企画事業研究委員会

の森道輝委員長を中心に「慕古事業特別推進会議」が結成され素案の制作に着手、さらに全曹青評議員会が母体となり「慕古事業実行委員会」が設置され全曹青が一丸となって主体的に慕古事業を

推進していく体制が整いました。同委員会等で検討を重ねた結果以下の基本事業の実施が決定いたしました。



7月 永平寺にて

寺院用仏具・仏壇・製造販売
曹洞宗梅花流法具販売指定店



ほう 光
放 光

本店・工場 〒940-0825 新潟県長岡市高畑町617番地
新潟店 〒950-0941 新潟市女池2丁目2-11
川越店 〒350-0036 川越市小仙波2丁目20-1
高崎営業所 〒370-0046 群馬県高崎市江木町1179-2
長野営業所 〒380-0911 長野市稲葉1980-1

☎(0258)33-5644
☎(025)280-1550
☎(0492)27-7666
☎(027)324-3721
☎(026)222-3811



基本事業について

「幕古の実践」を総合テーマに次の各事業を行う

1、東司掃除の実践運動

趣旨 道元禅師は『正法眼蔵洗淨の巻』で、お釈迦様が東司で羅喉羅に「出家はまさに苦を忍ぶべし」と説法された故事が祖祖相伝してきたことを、幕古の慶快と言われ、東司は仏の道場なりとお示しになられた。我々はこのことを再認識し、生きている証の場所である

東司の位置付けと家庭における東司（トイレ）掃除の大切さを伝える。

布教手段

- ①東司掃除を自らが実践すると共に広く推進し、8月30日の青年会の日には御本山において実践活動する。

②運動を展開するためA

3版ポスターを作成し配布する。デザイン等は靈元丈法老師に依頼する。

- ③6月17日の総会ではポスターを公開し、その後会員1名に2枚ずつ、協賛金納入寺院約2000か寺にも配布する。

2、「青年会の日」（8月29・30日）

趣旨 二祖懷奘禅師は『正法眼蔵八大人覺』

の巻の奥書に「先師最後の教勅なり、若し先師を恋慕し奉らん人は、必ずこれを書して護持すべし」とある。法孫たるものは、常に片時も失念してはならないお示しであり今日まで書写を実践できずにいる会員諸師はもとより、すでに書写し護持されている諸師もこの機会にあらためて筆を執っていただき、青年会会員全員が幕古の実践として『八大人覺』を書写し護持する。

正法眼蔵 八大人覺 第十二
諸仏是大人也、大人之所覺知、所以稱八大人覺也。覺知此法、為涅槃因。
我本師釈迦牟尼、入般涅槃夜、最後之所說也。

一者少欲。於彼未得五欲法中、不廣追求、名為少欲。
仙言、汝等比丘、當知、多欲之人、多求利故、苦惱亦多。少欲之人、無求無欲、則無此患。直爾少欲尚心修習、何況少欲能生諸功德。少欲之人、則無詭曲以求入意、亦復不為諸報所牽。行少欲者、心則坦然、無所憂畏、触事有餘、常無不足。有少欲者、則有涅槃、是名少欲。

二者知足。已得法中、受取以限、稱曰知足。仙言、汝等比丘、若欲脫諸苦惱、當觀知足。知足之法、即是富樂安穩之處。知足之人、雖臥地上猶為安樂。不知足者、雖處天堂亦不稱意。不知足者、雖富而貧。知足之人、雖貧而富。不知足者、常為五欲所牽、為知足者之所憐愍。是名知足。

三者樂寂靜。離諸憒鬧、独处空閑、名樂寂靜。仙言、汝等比丘、欲求寂靜無為安樂、當離憒鬧、閑独处閑居。靜處之人、帝釈諸天、所共敬重。是故當捨已衆他衆、空閑独处、思滅苦本。若樂

4月にお配りした書写用八大人覺

内容

- ①『八大人覺』を書写（青年会員）し、「青年会の日」（8月29・30日）に幕古の実践として報恩拝登し、高祖真前にて坐禅し、『八大人覺』を読誦する。
- ②傘松道詠の書写（青少年、一般）
青少年、一般を対象に、短く分かりや

＜梅花流法具指定販売店＞

法衣・袈裟・打敷・寺院莊嚴具・京仏壇・京仏具



本社 (〒605-0081) 京都市東山区古門前通花見小路東入ル
 東京店 (〒105-0014) 東京都港区芝2丁目15番2
 福岡店 (〒812-0036) 福岡市博多区上呉服町12-7

☎0120-29-8161 (法衣部)
 ☎0120-29-8165 (仏具部)
 ☎0120-19-8168 (贈答品部)

☎0120-3232-09
 ☎0120-2143-22

この道一筋

歴史ある日本の伝統建築を守り続けて90余年。日本古来の伝統の技を伝承する、魚津の設計と施工。

神社・仏閣専門建築

株式会社 魚津社寺工務店
 〒454-0004 名古屋市中西区西日置二丁目12番20号
 TEL(052)331-3080・0854 FAX(052)332-3540



すい傘松道詠の中から三首の和歌を書写してもらい、道元禅師の教えに親しんでもらう。書写してもらった傘松道詠は、8月30日高祖真前にお供えし納経する。書写いただいた一般の方には「記念ポストカード」を用意して納経証代わりとする。(コピーした写経用紙を使用したものも受け付けます。)



記念ポストカード

- ③会員の参加については、事前申し込みをし参加費の徴収は当日御本山で受付時に徴収する。

3、 禅文化学林の開催 (駒澤大学)

趣旨 青少年を対象に、仏祖の誓願 (慕古心)

を伝えることを目的として開催する。

内容

初日は一般の方も参加できる形での基調講演を駒澤大学で開催し、翌日会員による分科会を曹洞宗檀信徒会館(東京グランドホテル)で開催して議論を交わす。基調講演の講師については現在交渉中。

開催日

11月27日(水) 講演会 (青少年対象)

会場 駒澤大学

第1部禅話・第2部講演 終って懇親会 (会員) 大学付近にて予定

11月28日(木) 分科会 (会員対象)

会場 東京グランドホテル

分科会テーマを仏祖の誓願 (慕古心) — 青少年教化の問題点と展望—とし、各委員会単位に分かれ討議をする。

参加予定者数

各单位曹青4名 約200名

4、 托鉢 (各青年会)

実施期間を平成14年4月より平成15年3月とし、浄財納付先を道元禅師ゆかりのある寺院とする。

事業活動費について

各会議においてもなるべく会員各位に負担をかけぬよう鋭意検討を重ねてきたが、慕古事業はあくまでも自分たちの事業として自己資金で進めていくべきであるという観点から、全口約3000人の会員の協力を中心に進めていきたい。

主たる財源に、上記写経推進運動の傘松道詠納経料を充当する旨が今般の慕古事業推進特別会議にて決定した。

・ 事業活動費用

傘松道詠の納経料を全曹青慕古事業の主

たる財源に充当する。

・ 納経料納入方法

納経料は一巻につき500円とする。

会員一人あたり施主を4人以上募って頂き2,000円以上を納入して頂く。その際、例年の会費とは別の口座 (全曹青慕古事業実行委員会) に単位曹青ごとにまとめてご入金いただく。

尚、基本事業、事業活動費については3月12日の慕古事業推進特別会議にて承認されたものです。

◆ 慕古事業に関するお問い合わせ先
〈FAX又はメールにてお願いいたします〉

事務局長 高原 淳 尚
FAX 08477-4-0231 E-mail a.tkhr@guitar.ocn.ne.jp



全国曹洞宗青年会 第2回慕古事業実行委員会開催



平成14年2月18日、全国曹洞宗青年会評議員会が曹洞宗檀信徒会館（蘭の間）において開催された。

全国各県の評議員、管区理事、執行部合わせて約70名が集まり午前11時から執行部会、正午より第15期会長選考委員会、午後1時から評議員会（慕古事業実行委員会）が開催され、議案の審議が行われた。

評議員会は、池上幸秀会長の挨拶に引き続き、議長に松本宏思師（曹洞宗鳥取県青年会）

副議長に宮寺守正師（曹洞宗埼玉県第二宗務所青年会）がそれぞれ選出され、議事が進行した。また、昨年11月19日に開催された「禅文化学林東北大会」に携った関係各位の皆様に対し、曹洞宗福島県青年会会長 室井義春師から、お礼の言葉が述べられた。

議事の進行はまず、第1号議案「慕古事業計画案」について慕古事業推進特別会議議長、森道輝師より説明がなされ、各事業計画案について審議された。

次に第2号議案「各委員会活動経過報告」が各委員長により報告された。

最後に全日本仏教青年会の報告が山口英寿副会長から、第15期会長選考委員会の報告が浦辺世紀師（九州管区理事）からそれぞれなされて、評議員会が閉会した。

また、この日は議事日程終了後“東司掃除の実践運動に係る内容”として宮崎県昌竜寺住職 霊元丈法老師による基調講演が行われた。

全国曹洞宗青年会 第8回執行部会・慕古事業推進特別会議開催

平成14年3月11日・12日両日にわたり曹洞宗檀信徒会館（竹の間）にて執行部、管区理事合わせて約20人出席の元、第8回執行部会

及び慕古事業推進特別会議が開催された。また確認事項として全曹青平成14年度評議員会・総会が6月17日10時より評議員会が13時より総会が15時半より禅の集い中央研修会がそれぞれ開催予定である事が報告された。

平成14年度 全国曹洞宗青年会総会開催のご案内

期 日／平成14年6月17日(月)
場 所／曹洞宗檀信徒会館 桜の間
日 程／10時 評議員会（慕古事業実行委員会）
13時 総会
15時30分 中央研修会
講師：駒澤大学教授 河村孝道 先生
17時 懇親会

出席のお申し込みについては、各都道府県・各单位曹青会の評議員宛に所定の用紙を送付しますので、お取りまとめの上、事務局までご報告いただきますようお願い致します。

★多数のご参加、ご出席をお待ちしています★





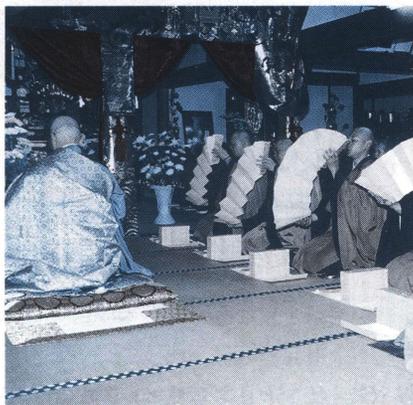
四国地区曹洞宗青年会 管区大会

二月二日、宇和島市泰平寺様にて、大本山總持寺後堂野田大燈老師を講師として迎え、「心の癒し」をテーマに四国地区曹洞宗青年会管区大会宇和島大会が開催されました。

当初、四国地区曹洞宗青年会（以降、四曹青）会員の研修と宇和島水産高校「えひめ丸」慰霊法要を、という四曹青会員よりの提案があり、その方向で準備を進めておりましたが、色々な諸事情により、急遽、講演と平和祈念法要を執り行うこととなりました。

当日は、雨にもかかわらず、四曹青会員をはじめ、一般参加者合わせて二百数十名の方々の参集を得て、開催の運びとなりました。

皆さまにおかれましても、周知のとおり、昨年は、「えひめ丸」沈没事故・池田小学校児童殺傷事件・さらに米国同時多発テロ等我々を震撼させ憤りを感じさせる事件・事故が多発いたしました。又、テレビ・新聞等のニュース・調査等でもわかりますように、これらの事件・事故により多くの関係者の方々が、今なおその後遺症（心的外傷後ストレス…PTSD）の症状に苦しんでおられます。そ



れ以外でも「ストレス社会」といわれますように、我々の身の回りにおいて色々な事象が起っております。これらのことに我々青年僧が、いかにして関わっていくのか、いけるのかをこれからの課題として取り組み、定期的に研修を重ねていく方向へと進んでおります。

今回、管区大会開催につきましては、立案より短期間（三ヶ月）での開催となりましたが、地元愛媛曹青会の準備により、滞りなく開催でき、次回大会へ弾みがついたように思われます。



今回の開催に当たり、会場を提供していただいた、泰平寺様、四国管区教化センター様、関係各位の皆さまに心より感謝を申し上げます、大会の報告とさせていただきます。

（四国管区青年会記）

今後開催予定の各地の管区大会

- ・第26回東海管区曹洞宗青年会大会
（会長舟橋宗広、実行委員長逸見智孝）
平成14年5月15、16日一泊二日大会や托鉢などを中心に岐阜市内で開催予定
- ・第21回曹洞宗北海道青年会大会
（会長芳村元悟、実行委員長渡辺泰規）
平成14年5月27、28日「ネットワークの再確認」をテーマに滝川にて開催予定
- ・第32回九州曹洞宗青年会総会長崎大会
（会長浦辺世紀、事務局宮崎侯基）
平成14年6月5、6日一行事報恩をテーマに如常の日程（暁天、朝課、展鉢など）にて佐世保市で開催予定

◆営業品目◆

寺院専用各種記念品・慶弔

御布教用品・お供物品・その他寺院用品全般



「誠実」日本一を貫く わげん どう
和顔愛語の 和顔堂

（株）和顔堂 ☎ 0120-7676-00

☎ 153-0064 東京都目黒区下目黒 3-14-14

わげん堂の
基本理念
人生は
愛を刻む
旅であり
企業は
誠実を貫く
旅である。

木を植えましょう

本の収益はすべて森をつくるために使われます。
この本一冊で苗木を一本植えることができます。

本誌好評連載中の正木高志先生の本
がこのたび出版されました。

先生は以前から自然の森を復活させる
植林事業を熊本の聖護寺などと連携
し行っておられます。今般の出版に伴
う収益はすべてその植林事業に使われ
ることから「そうせい」としてもその
コンセプトに同調し、広くみなさまに
お知らせする次第です。

「木を植えると、五〇年たつて森に
なるというのではない。木が植えられ
た瞬間に森になる。小さくても森であ
る。それは人間の赤ちゃんか、どんな
に小さくても、人間であるのとおなじ
ことだ。そして子供の存在が子供のま
まで希望であり救いであるように、新
しい森は幼いままに希望であり救いで
あった」(第六章より)



正木高志 著 南方新社 刊
A5判 168頁
定価(本体1,000円+税)

目次より

- 第一章 私も病んでいると桜の老木は言った
- 第二章 腐敗したぬか床の漬け物が腐るように
- 第三章 森へのめざめ
- 第四章 森の掟
- 第五章 ∞から〇へ
- 第六章 森の復活祭
- 第七章 花鳥安国論
- 第八章 森を破壊する文明

(送 料) 1冊 150円、2冊 200円、3冊 300円、4冊 400円
5冊以上の場合には当方で送料を負担いたします。
(卸価格) 10冊以上のご注文は、卸価格 900円(送料込)
20冊以上のご注文は、卸価格 800円(送料込)

申込先 森林ボランティアグループ 森の声

〒861-1441 熊本県菊池市木護
電話 0968-27-0212 FAX 0968-27-0206

エコクッキング

捨てればゴミ 活かせば 薬膳

ウドの皮のきんぴら

低カロリーで安心、ミネラルや食物繊維は豊富

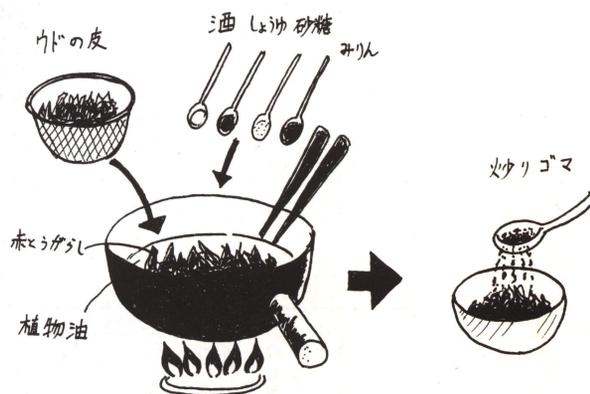
春の味、山菜。その中でも、昔から親しまれているウドは、独特の香りと歯ざわりが魅力です。ウドに含まれるアルファピネンなどの香りの成分には、食欲増進作用があります。栄養的には低カロリーで、脂肪やたんぱく質はほとんどゼロ。カリウムなどのミネラルや、ビタミン、食物繊維を含んでいます。また、「ウドの木」という言葉がありますが、体ばかり大きくて役に立たないようなときに使われ、あまり良い意味ではありません。しかしウドは、捨てる部分がない、まるごとすべておいしく食べられる、エコロジー野菜です。

ウドをおいしく食べるコツは、包丁で厚めに皮をむくことです。むいた後の中身は薄くスライスして、酢水にさらしたものを、酢みそやサラダなどに。生食で味わうことで、ウド独特の風味が楽しめ、さらにカリウムなどの栄養素の損失も防げます。

残った皮や芽の先の部分はきんぴらにします。中身よりも皮で作る料理を好む人も多く、隠れた人気メニューです。

◆材 料◆

ウドの皮/2本分、酢/適量、植物油/大さじ2分の1、赤とうがらし/1本、酒/大さじ1、しょうゆ/小さじ2、砂糖/小さじ2分の1、みりん/小さじ2分の1、炒りごま/適量



◆作り方◆

- ①ウドの皮は細切りにして、酢水にさらしてからザルにとり、サッと水洗いして水気をきる。
- ②温めたフライパンに植物油と、赤とうがらしを入れて熱し、①のウドの皮を炒める。
- ③酒、しょうゆ、砂糖、みりんを加えて味を整え、汁気がなくなるまで炒める。
- ④小鉢などに盛ってから炒りごまをふりかけてできあがり。

(管理栄養士・小池すみこ)

賛助会員御芳名

平成13年12月 14年2月

Table listing names of donors and their affiliations across various prefectures (e.g., 東京都, 神奈川県, 埼玉県). Includes a large table of names and a smaller table at the bottom with specific details.

月叟語録

吉留進堂和尚遺録

禪門引導香語集大 本書は、詩心玲瓏にして道眼明なる著者の生涯作品を大成したものである。...

頒価15000円 (送料1000円)

申込先 〒327-0012 栃木県佐野市大蔵町2975 興福寺語録刊行会 (現金書留または振替用紙でお願い致します。)

B5判特装 本文787頁 総ルビ付



「そうせい」一一六号「天真に生きる。」の良寛さまをテーマにされたことは、時を得た企画と感心しました。私から一言申し上げたいことは、「一般のお檀家様から遠く離れた所に座って居られる。お檀家様が何を考へ何を望んで居られるか、知ろうとする努力もなされず、共に悩み、共に悲しみ、共に喜ぶという心が無い」坊さんが一部かもしれないが、私はそういう坊主にはなりたくないと自分に言いよかせ、弟子にも身をもって教えていきたいと思っております。良寛さんの生き方、民衆と共に楽しみ、悲しい時には共に涙し、大自然を愛し、金や物の欲を離れた生活が出来たなら、人間として生まれた最高の幸せであろうと思います。益々の御活躍御祈念いたします。御身体に充分気をつけて頑張ってください。

(新潟県周広院住職／横山真澄様)

先日、心待ちにしておりました「そうせい」をお送りくださりまして本当に有難うございました。早速読ませていただきましたところ、定価100円の安さでこれだけのセンスの良さと充実した内容にとっても感動いたしました。最新号では、SOUSEIインタナショナルの記事が特に印象に残っています。あとは、所々出てきます英語が、英語好きの私にはとても勉強になりました。それでは、次回も楽しみにしております。E-mailにて失礼いたしました。

(神奈川県／池宮弘子様)

「そうせい」一一六号22ページ「プロジェクトKYOTO」に感動しました。表紙もいいです。すばらしい「そうせい」及び全曹青の活動を継続して下さい。賛助金送ります。

(埼玉県／正眼寺寺族様)

広報「そうせい」の出版を楽しみに見ています。がんばって下さい。

(京都府／西方寺寺族様)

遠山無限

いよいよ、全曹青「慕古」がスタートします。二十一世紀に、道元禅師の「ことば」が、八百年の星霜を経てこたましてきます。

永六輔氏は、ある対談の中で「世代間の落差が大きくなって、言葉でつながりやどうにもならない時代に、その言葉がとても貧しくなっている。そこが問題なんですよ。」と言っている。それに呼応するように、今、『の日本語』と題された本がいくつも出版され、またよく売られています。

大衆は、学校現場での学力低下を懸念しながら、日本語のリズムや豊かさ、ことばの源などを紹介した本を手に取り「いったい、それは、どうだったんだろう」と、原点回帰作業を頭の中ではじめたようにみえます。「相田みつを」や「金子みすゞ」などのことばが没後、何倍にもパワーアップして蘇り、現代人の琴線にふれ、そのことばの波動は私たちにより广大で宇宙的な、そして、精神的な視座から日常の表象世界を捉えることにエネルギーを与え

新しい企画もいいですね。若住職より、寺族が楽しんで読んでいます。(スローガンもいいですね)

(群馬県／長伝寺様)

貴重な御意見御感想をお寄せいただき、誠にありがとうございました。今後の紙面編集の参考とさせていただきます。

(京都府／西方寺寺族様)

続けています。私たち青年僧は、教化実践の現場で、檀信徒や大衆と向かいあった時、本当に彼らの心を揺さぶるエネルギーに満ちたことばを発しているのでしょうか。道元禅師は、数々の撰述の中で、喩えをひいては饒舌とも思える程に「ことば」によって、真如実際の理を伝え遺そうとされました。いま、次世代との中継点に居る法孫として、現代人に受容されるべき「ことばの質」というものを学び、それを心に響かせる自らの感性を磨くことを怠ってはなりません。現代社会の中で「ことば」の力と質というものを掌握し、意図的に使用できる自由をみにつけ、「八大人覺」の書写、『傘松道詠』中の詠歌書写運動を展開することこそが、未来世界に向けての慕古実践報恩行に他ならないと、確信しています。

全国曹洞宗青年会

会長 池上 幸秀



編集室敬白 プレゼント

本誌25ページで紹介しております「木を植えましょう」(正木高志著)を、抽選で10名様にプレゼントいたします。ご希望の方は、はがきに住所・氏名・電話番号・本誌の感想をお書きの上左記の宛先までふるってご応募下さい。

〒699-0624

島根県簸川郡斐川町上直江199

妙相寺内

「そうせい」読者プレゼント係

(担当 千葉)

今回の特集ではSVAの皆様にご挨拶になりました。紙面をお借りしてあらためて御礼申し上げます。会談当日はたくさんの方々が御見えになり、SVAの我々青年僧に対する期待をひしひしと感じました。計画的で組織立てられた活動の様子をお聞きして、宗門由来のNGOとして誇りに感じました。さて、今回から「仏教経済学」についての連載が始まります。仏教が経済に対して持つ可能性について皆様と考えて行きたいと思っております。

◆お詫びと訂正

一一六号19ページにおいて「宮崎県昌電寺住職 元丈法師」の表記が誤って「宮城県」となっていました。お詫びして訂正いたします。また、たくさんの方に御覧いただいております「そうせい」読者プレゼント」の発送が諸般の事情により遅れております。今しばらくお待ち下さい。

山口県曹洞宗青年会



DATA

発 足 昭和51年
 会 長 河谷 正也
 副会長 西村 宏司
 山本 昌男
 会 計 末益 泰輝
 事務局 大野 泰生
 会員63名



SVA創設に関わるなどボランティア活動にも刮目すべき活動をする曹青会。前身の山口県仏教青年会は日本初の青年会とも！

山 山口県曹洞宗青年会（以下、「当会」と表記）のご紹介をいたします。〔今、我々青年僧にできること〕を念頭に、先輩諸師、OB会員各位のご指導・鞭撻を賜りながら、現在六十三名の正会員（四十歳まで）で青年会活動に取り組んでいます。

当 会の組織は、会長、副会長、若千名の執行部員、事務局で構成される「執行部」と山口県内十五教区の代表理事（正会員による）で構成される理事会などがあり、執行部会での活動案や議案を理事会で計り、了承された案件について活動していく方法で今日まで来ています。また会の運営については、正会員、OB会員より納入される各会費、及び賛助金を以って、運営財源の中心とさせて頂いております。

当 会の一年間における主な活動としては、「緑蔭禅のつどい」「寺古屋キャラバン（山口県内各地のお寺を回

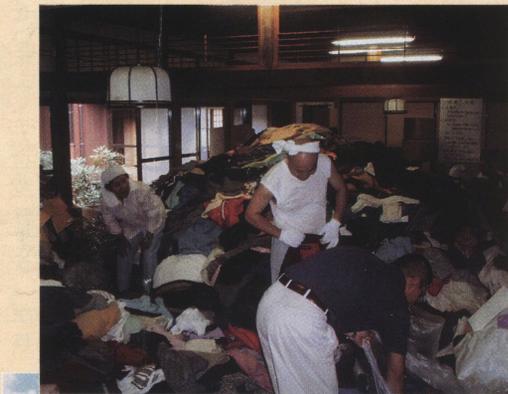
り、一泊二日の坐禅会を開催）」「寺庭婦人セミナー」「月例研修会（裁縫会・眼蔵会・涅槃会坐禅会・法式研修・托鉢・その他）」「心の大学講座」等の行持が挙げられますが、特に平成二十二年には、九年ぶりに当会主催の「授戒会」を開催、戒弟の方々とのご縁を頂きながら、会員の結集をも果たし得ました。更にこれらに加え、当会の特色の一つでもある「ボランティア活動」にも力を注いでおります。

阪 神・淡路大震災での活動など、日本国内での活動はもとより、昭和五十年代からの、カンボジアに対しての「教育支援活動」や「衣類を送る運動」をきっかけとして、現在では「タイ山岳少数民族教育支援活動」、そしてSVAからの依頼を受けての、昨年度よりの「ミャンマー難民に冬物衣類を贈る運動」（三年間の予定）と、先輩諸師がともし続けられた「ボラン



ティア活動の灯」を今に受け継いでおります。

近 年の「タイ山岳少数民族教育支援活動」では、平成八年にタイ・パヤオ県ボン郡に学生寮を建設して以来、募金活動や托鉢、現地のクラフト販売を通じて、奨学金の支給や学生寮の運営に携わっています。また、「ミ



ヤンマー難民に冬物衣類を贈る運動」については、全国十七万着の衣類の内、三万余りの衣類を難民キャンプに送ることができました。これらについては、婦人会や寺族会などの県内各団体や、各ご寺院さまの多大なるご支援ご法愛を賜りながら継続活動させて頂いております。

当 会では今後も、相互の資質の向上を目指して青年僧侶の力を結集し、今だからこそできる青年会活動に一丸となつて取り組んで参りたいと思っております。宜しくお願い申し上げます。

発行所 全国曹洞宗青年会 〒105-8544 東京都港区芝2-5-2 曹洞宗事務庁内／発行責任者 池上 幸秀 編集責任者 河村 康秀 編集委員 千葉 琢道・大熊 真龍・中町 天慧・奥山 千成・東井 千明
 本誌編集部へのお問い合わせ先 〒063-0037 北海道札幌市西区西野7条9丁目7-1 養福寺内 ☎(011)661-0611／全曹青ホームページ <http://www.sousai.gr.jp/>印刷所 株式会社中央デザイン／定価 百円